

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	本庁舎施設管理計画事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		01	02	01	07	01
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		01	07	01	58	
				主管課	財産活用課			
				主管課長	石戸 敏久			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	本庁舎施設	意図	安定した執務及び市民利用等の環境を維持する。
事業内容	施設の日常点検、定期点検及び故障履歴等を勘案して改修を行い、執務環境の安全確保及び故障等の未然防止が図られる。			
事業開始から現在までの状況変化	庁舎建設から年数経過により、施設全体にも老朽化が進むことから、日常点検等計画的な施設補修が必要となる。財政上も厳しいことから、施設全体も老朽化しているが、優先順位を付けて、計画的な実施を検討する。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	改修金額	9257	25410	59102	千円	→→	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 第1庁舎は建設時から約30年が経過し、老朽化が進んでいる。限られた経費で計画的な施設改修を行う。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,257,900	25,409,560	62,457,920				
事業費(b)(円)		9,257,900	25,409,560	59,101,920				
うち一般財源		9,257,900	25,409,560	59,101,920				
職員給与費(c)(円)				3,356,000				
人役・職員(人)				0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	施設の日常点検、定期点検及び故障履歴等を勘案して、改修する。	③取組の課題	改修費の確保
②今年度(H29)に実施した取組	非常用発電機の電源設備改修工事を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	庁舎の大規模改修に向けて、改修箇所 の整理